

## 支部発足 50 周年記念式典ご挨拶

秀峰駒ヶ岳もうっすら雪化粧をする季節になりましたが、皆様におかれましては、ますますアクティブにアマチュア無線を楽しんでいることとお慶び申し上げます。また、日頃より、日本アマチュア無線連盟渡島檜山支部の活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り、衷心よりお礼申し上げます。

さて、本日は、日本アマチュア無線連盟渡島檜山支部発足 50 周年記念式典にご参加いただき、心よりお礼申し上げます。

また、本事業推進に際しまして、JARL 会長様、北海道地方本部長様、青森県支部長様からも心温まるメッセージをいただき、感謝しております。また、記念誌編集にあたりまして、原稿を執筆下さった皆さま、短信をお寄せくださった皆様、数々の資料を提供下さった皆様、そして、校正・印刷などに携わってくださった皆様のおかげで、50 年という節目に記念誌という形で歴史を残すことができましたことを厚くお礼申し上げます。

さて、私自身、草創期の諸先輩と比べると、50 周年を統括するには、まだまだ分不相応なところもありますが、私ももう少しで開局 50 周年を迎え、支部発足と共に、アマチュア無線を楽しんできたこともあり、若輩ではありますが、本企画を推進させていただきました。

中学 3 年生の時、ドキドキしながら「無線局免許状在中」の封筒を開けて、自分のコールと初対面した時の感激、そして、JH8CBH というコールサインを初めてお空に送出したときの緊張感、そして嬉しさは、ついこの間のようにさえ感じます。

当時は、中学生、高校生もたくさんいました。そして、私たちより年上の諸先輩もたくさんいました。QSLカードを持って、自転車で、あちらこちらの大先輩の家を訪問させていただきました。ちょっと苦かったコーヒーをいただきながら、アマチュア無線のことをたくさん教えていただきました。「新しい人を歓迎する。」「仲間を大切にする。」「常に学ぶ姿勢を大切にする。」などのスピリットは、今の私の無線人生の根本にもなっております。

そして、年月が流れ、アマチュア無線も残念ながら斜陽化してきました。しかし、電波を飛ばして、ローカル局との、また全国、全世界の仲間と交信できる楽しみは今も昔も変わりません。このすばらしい趣味を皆さんと共に楽しむと共に、多くの人に広げていくということも、そして今回、この周年事業を推進していくことも、私を育てて下さった諸先輩への恩返しと思っております。

50 年前、北海道支部という形から、北海道の 8 支部に分割して、よりきめ細かい JARL のサービスを提供したいという先人たちの思いをしっかりと受け止め、渡島檜山支部は、これからも地域に密着した支部運営を行い、皆さんが楽しめること、そして、アマチュア無線の社会貢献をしていくこと、そして、アマチュア無線を発展していくこと描きながら、活動を進めていきたいと思えます。

また、本日は、特に最近アマチュア無線を始めた方、そして、アマチュア無線のスタートラインに立とうというとしている方もこの席に参加して下さったことは、とてもうれしいことでもあります。ありがとうございます。本日は、短い時間ではございますが、JARL 渡島檜山支部発足 50 周年を皆さんと共に祝したいと思えます。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和6年11月9日

日本アマチュア無線連盟渡島檜山支部

支部長 佐々木 朗 JH8CBH